

令和7年度第3回夜間中学開校支援委員会(R7.9.29)における主な内容及び意見

説明:夜間中学開校に向けての取組状況等

- ・第2回開校支援委員会(6/30)における協議内容の報告
- ・学びの支援学生サポーターについて
- ・入学相談会、入学面談の状況報告

協議1:校章・校歌に関する事

- 校章については、選定委員会提案の候補5案について、
 - ・学校の教育理念に立ち返ること
 - ・多様な立場の方が通う学校であること
 - ・著作権侵害に注意すること等、選定プロセスについての意見が出された。また、「校章の選定基準」に沿って、委員からそれぞれ意見が出された。
- 校歌については、県出身者に制作を依頼している状況報告を行った。



協議2:基本構想に関する事(学習状況に応じたコース設定)

(主な事務局案)

- 学習状況に応じたコース設定
 - ・国語、数学、外国語について実施
 - ・コースごとに一人ずつ教員がついて、教室を分けて行う
 - ・特に支援が必要な方には、学生サポーター等がついて行う
- 学生サポーターについては、効果的な支援となる学生の配置、困りを抱えている生徒の最適な支援となるように、**教職員間で生徒の学習状況などの把握を適切にしていくことが必要。**
- 学校が始まってからも**柔軟な対応をして、最適な方法を選んで運用していくこと。**

協議2:基本構想に関する事 (学校の教育目標、目指す姿)

(主な事務局案)

- 学校の教育目標
 - ・チャレンジ～夢や目標を持ち、仲間とともに学び続ける生徒～
 - 目指す生徒の姿
 - ・学ぶ喜びを実感し、学び続ける生徒
 - ・他者と協力しながら学ぶ生徒
 - ・自分を信じて、新たな一歩を踏み出す生徒
 - 「学校の教育目標」として、学校の目指す方向性を示す言葉を加えて文末を整理する必要。
 - 大分県として初めての学校で、生徒だけでなく、学校も挑戦するというメッセージが伝わるのであれば分かりやすい。更に、**意図が明確に伝わるように表現を修正・工夫する必要。**
 - 「目指す生徒の姿」は、いろんな立場の方がいるので、協力をする上では互いを認めることが大切。**「尊重」という言葉が必要か。**
- ※教育目標の表現を修正・整理した上で、それに基づき教育課程等の編成を進めていくことが確認された。

協議3:生徒募集に関する事

- 委員として、広報誌などで周知をする場を提供している。今後、そして、来年度になっても夜間中学を必要としている方に直接かかわる支援者や関係者が出席する会議の場の情報を更に提供していく。
- 生徒募集については、今後も努力を重ねていかなければならない。**委員のアイデアを今後も提供していく。**

※閉会行事にて、今後の開校に向けてのスケジュールの確認を行った。
(体験教室、オンライン体験講座、入学相談会、開校記念式典)